

Kakehashi いさはや

2021
Vol.3

令和3年7月発行



「医療」と「介護」をつなぐ



～いつまでも住み慣れた地域で暮らせるように～

「医療」と「介護」をつなぐ



諫早市在宅医療・介護連携支援センター（かけはしいさはや）は平成30年8月に開所し、もうすぐ4年目に突入します。「どんな活動をしているのですか?」「活動内容がわかりません」という皆様の声がありましたので、今回はかけはしいさはやの活動内容をご紹介します。

01 相談業務

医療、介護に携わる方々から、在宅医療・介護に関するご相談を受けつけています。

例えば

- ・自宅に往診してくれる医師はいませんか?
- ・透析送迎してくれる施設はありませんか?
- ・訪問してくれる歯科医を教えてください。
- ・夫婦で一緒に入れる施設はありますか? など

相談に対して情報提供や助言を基本に、支援させていただいてます。相談内容から現状を把握でき、必要な資源情報等を集め、その後の相談に活かしています。

お気軽にご相談ください。

03「医療・介護関係者」研修会

地域の在宅医療・介護関係者を対象に研修会を開催しています。

昨年度はコロナ禍で集合研修ができず、オンライン研修を開催しました。今年度第1回研修会もオンライン研修会をしました。これからはハイブリッド形式が主流になっていくことと思います。

しかし連携には、“顔の見える関係づくり”、集まって意見を交わすことも、やはり大切です。

感染予防対策を十分に行い、これからも医療と介護の連携に必要な研修会や意見交換会を開催していきます。



02 ホームページ

かけはしいさはやのホームページにはたくさんの情報が詰まっています。

市内の在宅医療機関一覧や、訪問歯科・薬局一覧、他にも在宅介護サービスや高齢者施設をクリックすると、市内の事業所等一覧が表示されます。



高齢者施設では医療行為が必要な方でも対応可能な施設や料金などの情報も掲載しています。冊子などにご活用ください。

研修情報は、かけはしいさはや主催以外にも他団体の研修も掲載しています。医療・介護関係者を対象にした研修であれば、ホームページでお知らせいたします。ご連絡ください。

04 情報紙 Kakehashi いさはや

昨年度より情報紙を発行しています。

諫早市の在宅医療・介護に関する情報を発信し、専門職の皆さんの顔の見える関係づくりのツールの一つとなるような情報紙を目指していきます。

取り上げてほしい内容や掲載してほしい情報がありましたら、かけはしいさはやまでお寄せください。



05 在宅医療と介護の市民講演会

医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活出来る「在宅医療」について、理解を深めてもらうことを目的に、市民の皆さんへの普及啓発も行っています。各地区・地域に縁のある三師会の先生方に講師を依頼して、在宅で療養できるよう、「かかりつけ医」の必要性や終末期ケアの在り方、訪問歯科診療の内容やオーラルフレイル予防、かかりつけ薬剤師を活用することなどお話しいただいています。



06 医療と介護のお気軽座談会

概ね10名以上の地域の団体・グループを対象に、

- ①在宅医療ってなあに？
- ②かかりつけ医で安心を！
- ③介護保険サービスを利用する
- ④その時に備えて（ACP）

この4つのテーマをセンター職員がお話します。



これまで老人会やいきいきサロン、公民館講座などでお話させていただきました。

高齢者だけでなく、いわゆる看取り世代（子供世代）など幅広い世代の方に聞いてほしい内容です。



「医療」と「介護」の“かけはし”となるために



「医療と介護の連携」とは何か？

「医療職、介護職が患者（利用者）のために、同じ方向を向いて、互いに連絡を取り合い、仕事をする事」ではないかなと思います。

そのために、やはり“顔の見える関係づくり”が大事で、関係機関で必要な情報を共有し、その情報をそれぞれの仕事で活かす。かけはしいさはやはそのような「連携」を目指していきたいと考えています。

諫早市の医療・介護関係者の皆さんが、円滑な「連携」を図れるように、これからも皆さんの声をたくさんお聞かせください。今後もかけはしいさはやの事業にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

かけはしいさはやのお仕事

かけはしいさはやは、地域の医療・介護サービスを提供する多職種・他機関の連携を図るため、「在宅医療・介護連携推進事業」のうち、特に次のことを重点的に取り組んでいます。

- ①地域の医療・介護の資源の把握
(ホームページでの情報発信)
- ②在宅医療・介護連携に関する相談支援
(相談による新たな資源の把握)
- ③医療・介護関係者の研修
(三師会、他団体との連携)
- ④地域住民への普及啓発
(市民講演会、お気軽座談会)

その他にも連携などに必要な取り組みを進めます。

令和3年度 研修会・講演会開催予定

「在宅医療・介護関係者」研修会

講師：三師会
時間：19時～20時
方法：オンライン研修
(Zoom)

9月 薬剤師会
12月 歯科医師会
3月 医師会

テーマは現在調整中です。皆さんの参加をお待ちしております。

「在宅医療と介護」の市民講演会

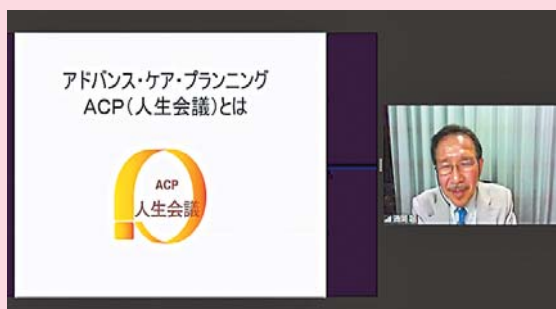
在宅医療ってなあに？～あなたを支える医療と介護～

日時：10月2日(土) 14時～16時
場所：たらみ図書館海のホール

日時：令和4年1月29日(土) 14時～16時
場所：長田みのり会館

ACP ことはじめ

令和3年度「在宅医療・介護関係者」
研修会を開催しました



6月28日、佐賀県にある満岡内科クリニック院長の満岡聡先生に、「ACPことはじめ」と題し、ご講演いただきました。

今回もオンライン研修で、約130名の方が参加していただきました。ACPのタイミングや気をつけることなど、たくさんのヒントを得ることができました。

ACPについては、継続した研修を検討していますので、今回残念ながら参加できなかった方、次回の参加をお待ちしております。

在宅医療・介護連携等に関するアンケート調査を実施しました

諫早市における医療と介護の連携の現状や課題を把握し、今後の専門職研修会等の事業の取り組みへ反映することを目的に、アンケート調査を実施しました。

アンケートへご協力頂きました関係機関の皆様、ありがとうございました。

アンケート結果につきましては、それぞれの職種から、各職種に望むことはありますか？また各職種からそれぞれの職種に望まれることや研修会のテーマなども当センターホームページに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

	送付先事業所等	送付件数	回答数	回答率
1	病院・一般診療所	125	14	11.2%
2	歯科診療所	41	7	17.1%
3	薬局	50	17	34.0%
4	医療連携室	13	8	61.5%
5	訪問看護事業所	17	10	58.8%
6	居宅介護支援事業所	52	32	61.5%
7	訪問介護事業所	38	15	39.5%
8	高齢者施設	81	50	61.7%
9	地域包括支援センター	5	5	100.0%
	合 計	422	158	37.4%



RAINBOW FM(FM諫早)に出演してきました♪

7月2日、「CHALLENGE BOX」という番組に出演しました。

かけはしいさはやが開催している「医療と介護のお気軽座談会」の紹介をさせていただき、市民の皆さんへ在宅医療・介護の普及啓発を進めていくことなど、お話をさせていただきました。

同じ健康福祉センター内にあり、パーソナリティの河野さんとは顔見知りでしたので、リラックスして出演できました。



編集後記

情報紙を企画する時に、どんなコンセプトにするか？医療職・介護職の方に参考となるものは？気張らずに楽しい紙面がいいのでは？など考えながら、皆さんの記憶に残るような紙面構成、情報の掲載に努めています。

これから皆様と一緒に顔の見える情報紙づくりを企画します。皆様のご理解・ご協力をお願いします。



諫早市在宅医療・介護連携支援センター **かけはしいさはや**

〒854-0061 諫早市宇都町29-1 健康福祉センター内
TEL: 46-3166 FAX: 46-3167
E-mail: isahaya.zaitaku.renkei@iaa.itkeeper.ne.jp
URL: <https://kakehashi-isahaya.com/>

